学校運営協議会議事録

日　時	令和８年（2026 年）６月 18 日（木）10 時 30 分～12 時 00 分	
会　場	北海道鷹栖養護学校	
出席者	運営協議会委員 11 名	学校側７名
出席者	北海道鷹栖養護学校後援会会長 北海道鷹栖養護学校ＰＴＡ会長 社会福祉法人鷹栖町社会福祉協議会会長 社会福祉法人鷹栖共生会理事長 元北海道特別支援学校長 名寄市立大学准教授 北海道教育大学旭川校教授 鷹栖町商工会理事 鷹栖町教育委員会学校教育課長 一般社団法人北野コミュニティセンター理事・集落支援員 北海道鷹栖養護学校長	副校長　　教頭 小学部主事 中学部主事 高等部主事 寮務主任 支援部長 ・助言者 上川教育局 教育支援課長 社会教育指導班主査 教育社会教育主事

議　事	内　容
１　開会	・校長あいさつ：学校運営協議会の開催にあたり、地域とともにある学校づくりを推進し、委員からの意見を学校運営の改善に生かしていくことを確認した。
２　説明	１　学校運営協議会の役割及び学校経営方針について (1) 副校長より：学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の役割について説明。地域・保護者・関係機関と連携し、学校運営の改善や地域学校協働活動を推進することを確認した。 (2) 校長より：学校経営方針について説明。学校教育目標『社会の中で協力し豊かに生きる人を育てる』の実現に向け、各学部の教育活動や地域との連携を重視した取組を進めることを共有した。
３　本校の取組	１　本校の取組の紹介 (1) 授業見学 各学部の授業及び教育活動の様子を見学した。 (2) 各学部及び寄宿舎の取組状況 ・小学部：地域との関わりや体験活動を通して学習を推進。バケツの稲作りセットを用いた米作り、調理学習等に発展させる予定。（小学部主事） ・中学部：地域資源を活用した学習や地域貢献活動を実施。資源回収等を通して社会参加意識の育成を図る。（中学部主事） ・高等部：地域での生活や就労を見据えた学習を展開し、関係機関との連携を進める。（高等部主事） ・寄宿舎：地域ボランティアによる花壇整備や青年会との交流活動など、地域資源を活用した活動を実施し、地域とのつながりを深めている。（寮務主任）
４　協議	１　地域学校協働活動の計画、実施、評価、改善についての熟議 地域学校協働活動の充実に向けて、各学部の取組や地域との連携の在り方について熟議を行った。 各学部で進められている交流活動や資源回収、農作業、地域貢献活動などについて、児童生徒が地域とのつながりを実感し、社会参加への意識や自己肯定感を高めることにつながる有意義な取組であるとの意見が出された。また、地域の自然や人材を生かした活動を継続・発展させるとともに、地域のニーズに応じた活動を工夫していくことの大切さを確認した。

	さらに、商工会や大学、福祉関係機関、教育委員会、PTA など、それぞれの立場から学校への協力や支援について意見が交わされた。地域住民の協力したいという思いと学校のニーズをつなぎ、具体的な協力内容を共有することで、より多くの方が参加しやすい仕組みづくりを進めていくことが重要であるとの意見も出された。 今後も、学校と地域が互いの強みを生かしながら連携・協働し、児童生徒の学びを支えるとともに、教職員の負担軽減にもつながる取組を検討していくことや地域に根差した学校づくりを継続し、地域共生社会の実現に向けて、学校と地域のつながりをさらに深めていくことを確認した。 ２　助言者から ・学校教育目標や各学部の目標を実現するためには、学校だけでなく地域との協働が不可欠であることや地域学校協働活動を進める上では、「誰に」「何を」「どのように」協力してもらうのかを具体化し、コーディネートしていくことが重要であることが示された。 また、委員一人一人が学校とのつながりを意識し、地域に学校の取組を広めていくことも大切な役割であり、次回以降は具体的な行動や連携につながる熟議を進めてほしい旨の助言があった。
５　閉会	次回協議会では、地域学校協働活動の具体的な取組や連携方法について引き続き協議することを確認し、閉会した。